

→ 旧河野村 → 河野または南越前河野

→ 敦賀・南越前 → 南越前河野または河野

北前船新聞

きたまえぶね しんぶん

福井編

敦賀・三国は海への玄関!

北前船で運んできたもの

●加工した唐布 ●茶葉がから ●ニッポン刺繍

北前船が運んできたもの

●茶 ●木綿衣類用品 ●しし ●お土産

昆布のふるさと、敦賀!

敦賀でわらに包んで冬越しした唐布が、熟成されておしくなった偶然が、敦賀独特の唐布つたが今はもう探獲されていないのでリサイクルして大事に使っているそうです。

北前船 敦賀 秋田など多くの産地 唐布を扱っていました。

調査結果 2

海上保険会社を作った!

北前船のすい運を継ぎつつ海防の事故のために交通路の確保や火事・津波の被害を減らすために小つは年1回の航海を1.5回、2回と船を出したお宝をかせいだ!

右近家の「ここがここい」

前船主のひとことなるほど大きくなりました。

調査結果 1

右近家は越前と敦賀を結ぶ中継地として栄えた日野村の船主。江戸なか、右近家9代目このころから北前船の発展の波にのり、五大北史を学んだら町に出でみましよう。

ここがここい 右近家

右近家は越前と敦賀を結ぶ中継地として栄えた日野村の船主。江戸なか、右近家9代目このころから北前船の発展の波にのり、五大北史を学んだら町に出でみましよう。

調査結果 1

三国には華商の夢があった!

古い町並みが残る。きたまえ通り。三国漢の歴史がわかる資料館「マチウツ」で北前船の歴史を学んだら町に出でみましよう。



敦賀・南越前と三国。同じ福井県で、ちかも北前船の寄港地ですが町の特ちは少し違ふです。敦賀は北前船より前から大阪、京都への荷が集まり、近江商人の中継商いでにぎわっていました。旧河野村の北前船主、右近家は敦賀に船をとめていたようです。今回は右近家の足あとをたどると、南越前まで足を伸ばしました。一方、三国は、丸頭電川と竹田川という2つの川の河口にあるため、江戸時代より前から水運で栄えた地で、江戶時代より前から水運で栄えた地で、湊番付でも上位に位置し、華商は文化人とも交流し賑わいを楽しむなど、なんとも風情がある町でした。

春とともに北前船がやってくる!

三国の風景

●敦賀市
●福井県
●丸頭電川
●三国町

おまじない ↑ おまじない

江戸後期 ↓ 江戸(おまじ)

江戸なかは ↓ 河野

↓ 旧河野村

越前の国府

↓ 越前府中

↓ 越前

福井 ← 旧河野村

→ 河野の風景、または南越前河野の風景